

## 第32回施肥技術講習会 受講申込み時の注意及び確認事項

(全国肥料商連合会事務局：TEL03-3817-8880)

### 【申込時に予めご了承・ご理解頂きたいこと】

「募集要項」の「16. 特記事項」の項でもご案内しておりますが、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、感染防止の観点より、開催直前に講習を延期する・中止する、等々、申込時のご案内と異なった対応を取らざるを得ない状況になる可能性が想定されますので、予めご了承頂きたく宜しくお願い申し上げます。

#### < 1 > 申込の方法

1. 申込用紙に記入の上、**必ずFAXにて**全肥商連本社宛てにお申込み願います。  
\* 氏名の欄に漢字だけでなく、**フリガナを記載**するように願います。
2. 変更やキャンセルなども、**必ずFAXで**行うようお願いいたします。
3. 受講料等の支払いで、**請求書や領収書が必要な方は、申込時にFAXにその旨記載**願います。また領収書の費目は「受講料として」と記載致しますので、**これ以外の費目での領収書が必要な方は、具体的な費目名・その金額をFAXに記載**願います。
4. 申込用紙をFAXで送付頂くと、申込の完了となります。  
締め切り日の令和4年1月20日以降に、本部より講習会開催可否の連絡をさせていただきます。  
その際に、受講料の支払方法、期日、支払口座の明細等を連絡致します。

#### < 2 > 受講料

新教材「改訂版 土と施肥の新知识」	基礎コース	
	会員・一般	普及職員
上記教材 無 →	¥20,750	¥10,750
有 →	¥18,000	¥8,000

実学コース	
会員・一般	普及職員
¥20,000	¥10,000

#### < 3 > 受講料の支払方法

1. 期日、支払口座の明細等を後日連絡致しますので、必ず**銀行口座振込**で願います。  
※その際、領収書の必要な方は、お申し出ください（必要とする費目と金額をご指示願います）。
2. 期日に間に合わない場合は事務局に連絡し、再指定された期日までに必ず振込で行うようお願い致します。

#### < 4 > 已を得ない事情でキャンセルする場合

1. 已むを得ない事情でキャンセルする場合、可及的速やかに全肥商連事務局へ連絡願います。  
急ぎで電話で連絡した場合でも、**確認のため追ってキャンセルの旨をFAXで送信**願います。
2. キャンセルした日が講習会開催日の3営業日前にかかり、手配した昼食等キャンセル出来ない場合は実費をご負担いただきますのでご了承願います。
3. キャンセルした場合、受講料は2. の実費と振込手数料を差し引いた金額を、後日指定口座に振込にて返金致します。従って、**キャンセルをFAXで連絡する際に返金を受領する口座の詳細を必ずご記載**願います。

#### < 5 > 持参すべきもので特にご留意頂きたいもの

1. 基礎コース受講者：**改訂新版**「土と施肥の新知识」。←**改訂新版**です。お間違えの無いよう  
忘れた場合は、当教材なしで受講頂くか、当日ご購入頂くこととなりますのでご注意を。
2. 基礎コース受講者：**鉛筆と消しゴム**←**検定試験を受験される方は必須**です。  
忘れた場合は、近くのコンビニ等で自己手当して頂くこととなります。

以 上

## 第32回施肥技術講習会募集要項

(第6回基礎・実学混合コース)

1. 主催： 一般社団法人 全国肥料商連合会

2. 後援： 農 林 水 産 省

3. 日時： 2022年2月15日(火)～16日(水)

2月15日 〈基礎コース・実学コース合同受講〉

8:30 受付

9:15～9:30 開講式

9:30～17:00 講義

17:00～17:15 閉講式(実学対象者)

2月16日 〈基礎コース受講者〉

9:00～10:20 実演講習

10:30～12:25 検定試験

12:25～12:40 閉講式

4. 場所： 東京農業大学 世田谷キャンパス

(初日) 百周年記念講堂

(2日目) ー 同上 ー

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

<アクセス>

①小田急線 経堂駅 徒歩約15分

②京王線 千歳船橋駅 徒歩約15分(バス5分)

5. 講師： 渡辺 和彦 先生 (元東京農業大学客員教授)

後藤 逸男 先生 (東京農業大学名誉教授)

小川 吉雄 先生 (元鯉淵学園農業栄養専門学校教授)

六本木和夫 先生 (元埼玉県農林総合研究センター部長)

(法令・法規) 農水省専門担当官 (農林水産省消費・安全局農産安全管理課)

\*講師プロフィールは別紙の通り

6. カリキュラム：講義スケジュール表をご参照下さい。

7. 講義内容：

① 4人の講師の講義時間は1講義80分、休憩10分で実施します。

- ② カリキュラムは 80 分を 2 分割し、前半は基礎コース、後半は実学コースの講義内容で実施します。
- ③ 法規・法令は、農水省より専門担当官派遣の上解説頂きます。(50 分)
- ④ 実演は富士平工業、藤原製作所、シーメンスヘルシア、堀場アドバンステクニによる簡易土壌分析機器、放射能測定器の実演・講習を行います(検定試験の対象外とします)。
- ⑤ 基礎コースのテキストは、新教材「改訂新版 環境・資源・健康を考えた『土と施肥の新知识』」を使用します。
- ⑥ 実学コースのテキストは、各講師が作成したプロジェクター資料を配布します。

## 8. 募集人数：定員 約 200 名。

受講生は全肥商連会員(肥料商、商社、肥料メーカー等) 普及指導員、日本 GAP 協会、日本農業法人協会等の方々ですが、会員以外でも会員 2 名以上の推薦があれば受講可能です。

## 9. 検定試験：基礎コース受講者対象

2 日目講習会終了後、検定試験を実施します。(試験時間：60 分+40 分の 2 時限)

合格者には「施肥技術マイスター」認定証と認定カードを授与し登録します。

その際、登録料として 5,000 円お振込み願います。

尚、過去都道府県部会の講習会を受講し「施肥技術指導員」の認定者は、検定試験が免除されますので、申込書認定欄「済」に○印を付けて下さい。但し、受験免除でも力試しで受験を希望される方(可否は問いません)は、その旨ご連絡願います。

## 10. 更新の選択：実学コース受講者対象(施肥技術マイスター登録者)

受講後の手続きにより登録が変わりますので、いずれかを選択して頂きます。

### (A)「施肥技術シニアマイスター」 (新規・更新登録)

受講後 3 週間以内に、講師からの課題についてレポート(A4 判用紙 2 枚)を提出し、講師が評価します。(パソコンにて作成可)

### (B)「施肥技術マイスター」 (更新登録)

受講だけで、レポート提出は不要です。

\* (A)(B)何れも、登録料、更新料として 5,000 円をお振込みの上、認定証カード用写真 1 枚(3.5×4.5cm、裏面に氏名記載)を郵送願います。

## 11. 申込み方法及び受講料：

【申込方法】別添の申込書に必要事項をご記入の上、必ず FAX にてお申込み願います(FAX 限定)。

### 【受講料】(1) 基礎コース

a) 新教材「改訂新版 土と施肥の新知识」をお持ちでない方・・・20,750 円

- b) 新教材「改訂新版 土と施肥の新知識」をお持ちの方・・・18,000円  
教材を既にお持ちの方は、教材費 2,750 円(税込)を差引き 18,000 円となりますので、申込書教材欄「不」に○印を付けて下さい。  
尚、1 日だけの受講でも受講料は変わりません。

(2) 実学コース：20,000 円

テキストは講師が講義で使用するパワーポイント資料を編集し、当日配付します。

お支払い：銀行振込に限定させていただきます。振込口座等の詳細につきましては、応募締切日の 2022 年 1 月 20 日(木)以降に、受講者宛にあらためて連絡させていただきます。

12. 意見交換会：新型コロナウイルス感染防止対策上、今回は中止とさせていただきますので、ご了承ください。
13. 認定登録料： 基礎コース：受講後の検定試験を合格された方で、「施肥技術マイスター」登録を希望される方は、講習会終了後登録される際、登録料として 5,000 円をお振込み願います。(5 年毎に更新します)
14. 応募締切り： 2022 年 1 月 20 日(木)迄に、希望されるコースの受講申込書に、必要事項を記載の上 FAX でお申込み下さい (FAX 限定)。  
コロナウイルス感染状況によっては、講習会を中止・延期する場合がございますので、締切後に予定通り講習会を行うか否か最終的に判断させていただきますので、ご了承ください。
15. 宿 泊： 各自にて早めにご予約願います。
16. 特記事項： 本講習会は、新型コロナウイルス肺炎の感染状況により、開催を中止・延期する場合がございますので、予めご了承ください。存じます。  
応募締切後の感染状況及び社会情勢により、開催を中止もしくは延期する場合にはご連絡させていただきますので、e メールアドレス又はファックス番号（どちらもない方は連絡のとれる電話番号）を申込書に必ず明記頂きたくお願い申し上げます。

コロナ禍の状況ではありますが、開催をすべく試行錯誤しておりますので、何卒ご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

以上

# 〈基礎コース〉

令和 年 月 日

(一社)全国肥料商連合会 殿

(FAX : 03-3817-8882)

## 基礎コース 受講申込書 (第32回・東京)

会社名 :

担当者名 :

住所 : 〒

TEL :

FAX :

※申込締切 : 令和4年1月20日 (木)

□第32回施肥技術講習会を受講したいので、下記の通り申込みます。

(\*注 : 受講者氏名のフリガナを忘れずに記載ねがいます)

受講者名	生年月日	年齢	性別	認定	教材	意見交換会
①	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
②	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
③	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
④	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
⑤	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
⑥	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不

\* 「施肥技術指導員」に認定されている方は認定済に、教材は「改新訂版 土と施肥の新知识」を指しますの  
で、それぞれ該当欄に○印を付けて下さい。

□受講者E-Mailアドレス :

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

# 〈実学コース〉

令和 年 月 日

(一社)全国肥料商連合会 殿

(FAX : 03-3817-8882)

## 実学コース 受講申込書 (第32回・東京)

会社名 :

担当者名 :

住所 : 〒

TEL :

FAX :

※申込締切 : 令和4年1月20日 (木)

第32回施肥技術講習会を受講したいので、下記の通り申込みます。

(\*注 : 受講者氏名のフリガナを忘れずに記載ねがいます)

受講者名	生年月日	年齢	性別	登録番号	有効期限	意見交換会
①	T/S/H		男・女			参加・不
②	T/S/H		男・女			参加・不
③	T/S/H		男・女			参加・不
④	T/S/H		男・女			参加・不
⑤	T/S/H		男・女			参加・不
⑥	T/S/H		男・女			参加・不

受講者E-Mailアドレス :

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

# 第32回施肥技術講習会／講義スケジュール表 2022年2月15日(火)～16日(水)

主催：(一社)全国肥料商連合会 後援：農林水産省

NO	2月15日(火)		講師	講義内容
	8:30	受付		東京農業大学 世田谷キャンパス 百周年記念講堂
	9:15～9:30	開講式		
1	9:30～10:20		農水省	I.「肥料の品質の確保等に関する法律」の概要
	10:20～10:30	休憩		
2	10:30～11:10	<基礎コース>	後藤	II-①. 土壌と施肥の基礎知識 1. 土壌の生成・分類・特性 2. 土壌の物理性、化学性、生物性
3	11:10～11:50	<実学コース>		II-②. 土壌診断分析に基づいた施肥 1. 土壌診断分析法の基本と最新技術の紹介 2. 実践、土壌診断分析結果に基づいた施肥管理 3. 土壌改良資材の特性と上手な使い方
	11:50～12:40	昼食		昼食(231、232教室で弁当を用意しております)
4	12:40～13:20	<基礎コース>	小川	III-①. 施肥の原理と肥料の種類・特性、施肥の方法 1. 施肥の原理、肥料資源の有限性 2. 肥料の分類と特性 3. 農産物の品質を高める施肥法
5	13:20～14:00	<実学コース>		III-②. 環境にやさしい施肥技術 1. 農業と環境、物質循環の破綻と環境影響 2. あふれる窒素をどうする 3. 環境保全型農業における肥培管理技術
	14:00～14:10	休憩		
6	14:10～14:50	<基礎コース>	六本木	IV-①. 作物別特性と施肥法 1. 水田土壌の特性と施肥(水稲) 2. 畑土壌の特性と施肥(露地野菜) 3. 施設土壌の特性と施肥法 4. 茶園・果樹園の土壌の特性と施肥
7	14:50～15:30	<実学コース>		IV-②. リアルタイム診断と施肥管理 1. 養液土耕栽培(かん水同時施肥) 2. リアルタイム栄養診断と必要性な3条件 3. リアルタイム診断の手順(動画を含む) 4. 栽培現場における診断(硝酸イオン測定)の簡易器具
	15:30～15:40	休憩		
8	15:40～16:20	<基礎コース>	渡辺	V-①. 肥料学は現在も進歩しつつある 1. 植物の必須元素と日本人のミネラル摂取基準 2. 農水省が硝酸性窒素について考え方を変えた 3. 堆肥施用で生じる微量元素欠乏
9	16:20～17:00	<実学コース>		V-②. 肥料学は現在も進歩しつつある 1. 2015年世界的にケイ酸は高等植物にとって、有益な物質として認められた 2. トピックス: CHOの供給を考えた新肥料の登場
	17:00～17:15	閉講式		※終了後実学コースの方は解散
	2月16日(水)			※基礎コースのみ実施します。
	8:30	受付		東京農業大学 世田谷キャンパス (231教室)
10	9:00～10:20	実習	メーカー技師	VI. 簡易土壌分析機器・放射線測定器 環境放射線モニターRadi、コンハ外水質計LAQUAtwin/ みどりくん//RQフレックス/農家のお医者さん
	10:20～10:30	休憩		
	10:30～11:30	検定試験(1)		東京農業大学 世田谷キャンパス (232教室)
	11:30～11:45	休憩		
	11:45～12:25	検定試験(2)		東京農業大学 世田谷キャンパス (232教室)
	12:25～12:40	閉講式		終了後解散

\*講義内容は、一部変更になる場合があります事ご了承下さい。

## 第 32 回全肥商連施肥技術講習会 講師プロフィール

(敬称略)

### 渡辺 和彦 (わたなべ かずひこ)

元兵庫県立農林水産技術総合センター一部長、元東京農業大学客員教授

兵庫県立農業大学校嘱託、吉備国際大学非常勤講師

(一社)食と農の健康研究所所長、農学博士

植物栄養生理、微量要素の第一人者 食と農(ミネラルと人の健康)に造詣深く啓蒙に務められる。「野菜の要素欠乏・過剰症」、「原色生理障害の診断法」、「農業技術大系・土壌施肥編」、「ミネラルの働きと人間の健康」、「人を健康にする施肥」(総合監修)、「肥料の夜明け」他海外を含む著書多数執筆

### 後藤 逸男 (ごとう いつお)

東京農業大学名誉教授 東京農大発(株)全国土の会代表取締役

「全国土の会」会長 (農家のための土と肥料の研究会)

農学博士 土壌学及び肥料学を専門分野とする。土壌病害の総合防除対策、土壌改良資材の研究開発。農業生産現場に密着した実践的土壌学を目指す

「環境保全型農業事典」、「土壌学概論」、「施肥管理と病害発生」(共著)、

「土壌・肥料・植物栄養学用語集」、「土壌サイエンス入門」他多数執筆

### 小川 吉雄 (おがわ よしお)

元茨城県農業総合センター園芸研究所 所長

元鯉淵学園農業栄養専門学校教授、元東京農業大学客員教授

農学博士 土壌・肥料学、米麦・畑作物栽培等を専門分野とする。

窒素循環の再生技術を研究、農業と環境問題を研究。「土壌肥料用語事典」、

「地下水の硝酸汚染と農法転換」、「トコトンやさしい土壌の本」(共著)他多数

### 六本木 和夫 (ろっぽんぎ かずお)

元埼玉県農林総合研究センター園芸研究所果樹担当部長

元女子栄養大学非常勤講師、日本石灰窒素工業会技術顧問

農学博士 野菜、果樹の土壌診断及び効率的施肥管理技術の研究に従事

農業経営を通じ、現場で役立つ施肥管理技術を実践。「野菜・花卉の養液土耕」(共著)、「リアルタイム診断と施肥管理」、「土壌肥料用語事典」他多数執筆

### 農林水産省 (肥料の品質の確保等に関する法律の概要)

農林水産省 消費・安全局農産安全管理課 専門担当官

以上